

平成29年に取り組んだ主な事業

市では、平成32年度を目標年次とする「後期基本計画」に基づき「笑顔があふれ やすらぎのあるまち うしく」を将来像とし、さまざまな施策を展開しています。平成29年度は、下記の**5つの柱**を掲げ、それぞれの分野で取り組みを実施してきました。ここではその主な事業についてお知らせします。

5つの柱3

地域経済の活性化・経済循環の取り組み

牛久市商工会の運営を助成する

1,756万9千円 担当/環境経済部

市内商工業者の経営改善のための助成をはじめ、商工会の実施するさまざまな事業への支援を行っています。平成29年度は新たな試みとして、就職フェア、まちゼミ等を開催するための支援を行いました。



5つの柱4

観光資源を活用した活性化への取り組み

文化財を保護継承して活用する

1,085万7千円 担当/教育委員会

牛久市のさらなる活性化を図るため、牛久シャトーの「日本遺産」認定に取り組んでいます。牛久市の魅力や特色の戦略的かつ積極的な発信へつなげます。



5つの柱5

再び転入超過の波を呼び込むまちの整備

市民とともに中央地区のまちづくりを実践する

1億2,168万7千円 担当/建設部

けやき通りから駅までの歩行者動線を確保し、人と車を分離することで、駅前の混雑解消と活性化を図ります。平成29年度は、牛久駅東口駅前ロータリーから、はなみずき通り交差点までの電線類地中化、および道路改良工事を行っています。

牛久駅東口



はなみずき通り



ひたち野うしく地区に中学校を建設する

6,713万5千円 担当/教育委員会

平成32年4月開校を目指し、新中学校の建設事業を進めています。平成29年度は実施設計等を行っており、平成30年度から校舎、体育館、テニスコートなどの建設工事に取りかかります。



ひたち野うしく中学校完成予想図

牛久運動公園武道場を新設する

2億9,625万8千円 担当/教育委員会

牛久運動公園に武道場を整備し、住民のスポーツ振興や、生涯スポーツ社会の実現を図ります。平成29年度から本体の建築工事を実施しています。



武道館完成予想図

決算

平成29年度

問 財政課
☎内線 1221

一般会計歳出合計は265億4,100万円

平成29年度決算が、9月に開かれた第3回定例会において認定されました。一般会計では、前年度比で歳入は**3.9%増**、歳出は**3.5%増**となりました。

詳細は次ページ

5つの柱

生涯活躍のまちを支える取り組み

健診(検診)を助成する

1億4,492万8千円 担当/保健福祉部



- ◆生活習慣病健診などを実施する(一般会計)
- ◆胸部・胃・大腸・前立腺の検診を実施する(一般会計)
- ◆特定健康診査・特定保健指導を実施する(国保特会)
- ◆後期高齢者に健康診査を実施する(後期高齢特会)

生活習慣病の予防と早期発見のため、30代健診、特定健診、基本健診、骨検診、各種がん検診等を受けられる体制(集団健診、医療機関健診)を構築し、健診(検診)費用の助成と保健指導を行っています。平成29年度から、新たに、特定健診、基本健診対象者に、委託医療機関以外で実施した健診(検診)への助成を開始しています。

5つの柱

安心した出産と、子育ての負担を軽減するための取り組み



医療費を助成する

- ◆医療福祉費支給制度(県と共同)による助成

4億9,776万1千円 担当/保健福祉部

- ◆医療福祉費支給制度(市単独)による助成

7,930万8千円 担当/保健福祉部

妊産婦、小児、母子家庭の母子、父子家庭の父子、重度心身障がい者等に医療費の助成を行っています。特に市では、妊産婦・小児に対する所得制限を撤廃し、さらに小児を高校3年生相当まで拡大し、助成を行っています。



民間保育園の運営・建設を支援する

17億7,834万4千円 担当/保健福祉部

待機児童の解消、さらなる子育て環境の充実に取り組むため、民間保育園の運営、建設に対する助成を行っています。平成29年度は民間保育園の運営補助に加え、「こぼと夢ナーサリー(0~2歳児対象、定員19人)」の建設補助を行っています。

乳幼児集団健診を実施する

635万8千円 担当/保健福祉部

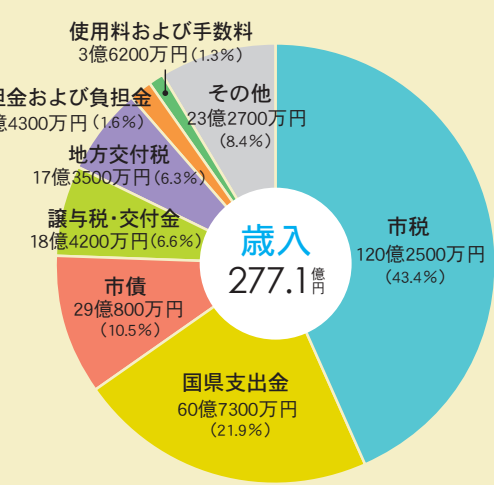
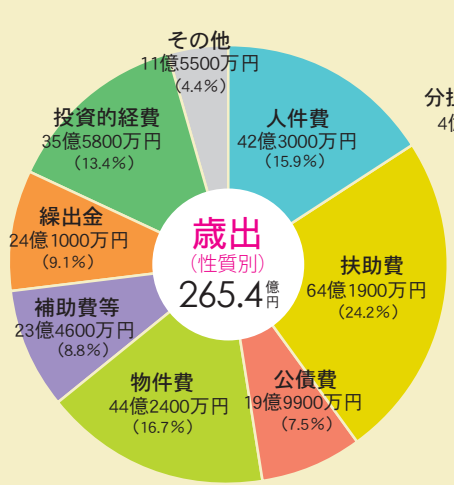
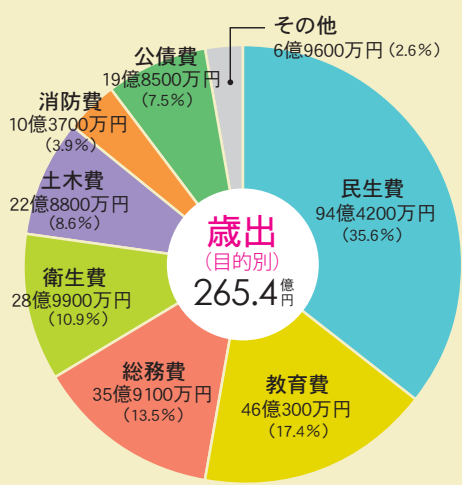
3~4か月児・1歳6か月児・3歳児健診を実施し、子どもの成長・発達の確認、疾病の早期発見をはじめとした育児支援に取り組んでいます。平成29年度は新たに、5歳児を対象に子どもの成長発達確認と、個別相談を開始しています。



歳出 265億4,100万円
前年度に比べ9億500万円、3.5%増加しました。

歳入 277億1,500万円
前年度に比べ10億3,000万円、3.9%増加しました。

平成29年度は、「将来に希望の持てるまち」に重点を置いた事業展開を行いました。その結果、歳入歳出ともに過去最高額での決算となっています。また全国的に減収傾向にある市税については、平成25年度以降5年続けての増額となりました。



市民一人当たりの歳出内訳 (一般会計)

市民一人当たりが負担したお金(市税)
141,296円
(昨年度139,904円)
※市税総額÷住基人口(H30.3.31時点)

市民一人当たりに使われたお金
311,850円
(昨年度301,395円)
※歳出総額÷住基人口(H30.3.31時点)

民生費110,939円／教育費54,085円／総務費42,192円／衛生費34,067円
土木費26,886円／消防費12,179円／公債費23,322円
※公債費とは…市債(市の借金)の元金と利子の返済の経費



特別会計

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険事業	94億4,600万円	94億300万円
公共下水道事業	23億1,900万円	22億8,500万円
青果市場事業	1,500万円	1,500万円
小規模水道事業	0	0
介護保険事業	53億5,000万円	49億円
工業用地造成事業	0	0
後期高齢者医療事業	15億1,200万円	15億1,200万円

その他主要施策

小規模特認校を活用した特色ある教育の実施と教育環境の整備

少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育を推進する

501万3千円 担当/教育委員会

児童生徒数の減少が進む奥野地区の小中学校において、小規模特認校制度の活用を図るとともに、オレンジ市の学校との交流や、外国語宿泊研修の実施など、国際理解教育の充実や、魅力ある学校づくりを進めています。平成29年度はオレンジ市のオレンジ・アングリカン・グラマー・スクールからのホームステイ受け入れを行いました。その結果、平成30年度は奥野地区以外から50人を超える児童生徒が通学しています。



生活道路の新設と維持

道路維持費

2億7,003万6千円 担当/建設部

道路、排水路、橋梁等のインフラ施設の補修、および計画的な修繕を進めています。平成29年度は、牛久大橋、豊年橋の補修工事を実施しています。

道路新設改良費

3億4,777万円 担当/建設部

市道23号線整備、通学路の安全確保(市道56号線(小坂町地内)、市道1013号線(神谷1・2・3丁目地内)、市道8号線(柏田町地内)、狭あい道路(市道213号線(東大和田町地内))等、計画的な道路整備を進めています。

